

令和3年度事業報告書

1. 概況

令和3年度の受託事業収入は226,118,232円で、前年度実績額216,321,497円に対し9,796,735円、4.5%の増。また、受託件数は前年度4,396件に対し4,291件の105件、3.4%の減となりました。

会員の入退会状況は、入会者は男性46名、女性22名計68名で、退会者は男性40名、女性20名計60名であり、年度末における会員数は499名となり、前年度末会員数491名に対し8名の増となりました。

会員の年間就業率につきましては、81.8%（前年度82.7%）で前年度と比較して0.9%減となりました。

労働者派遣事業につきましては、受注件数44件、就業実人員47人、就業延人員3,622人日となりました。

有料職業紹介事業につきましては、実績がありませんでした。

安全就業対策では、会員の安全意識の高揚と就業上の事故防止を図るため、安全標語の募集（32点の応募）や機関紙での「熱中症予防」などの注意喚起を実施しました。

事故発生状況は、作業時の転倒による傷害事故1件、刈払機の飛石等による破損の賠償事故5件、交通事故0件と計6件発生し、前年度と比較して3件増となりました。

普及啓発活動としては、センターの事業内容を継続して、家庭や事業所から理解を得るため、市内全域への朝刊折込、ケーブルテレビでのCM放映、はんだ市報への掲載、ホームページへの掲載、半田市クリーンセンター発行の「家庭ごみの分別と資源の正しい出し方」パンフレットへのPR掲載、事業所向け会報誌へのチラシ折込、地域イベントへの出店等を実施し啓発に努めました。

そのほか、会員機関紙「シルバー通信」を毎月発行し、就業募集など会員への情報提供と就業機会の拡大に努めました。

ボランティア活動は、年2回の実施を計画していましたが、新型コロナウイルス感染症の市内における拡大状況から安全を第一とし中止となりました。

技能講習会も、同様の理由により中止となっています。

会員交流事業は、2月に「フォトコンテスト」を開催しましたが、その他の行事や知多地区の5市5町のシルバー人材センターで構成する知多ブロックの共同研修事業は、開催することができませんでした。

相談事業では、常時施設内で希望者に対し、行っており、入会説明会では113名の参加がありました。

調査研究では、新規会員に就業希望調査を実施し、発注先には職員によりサービス内

容等の向上を図るための聞き取りを行いました。

アイプラザ半田内喫茶「楽」の事業実績は、営業日数 240 日、来客数 5,000 人、売上金額 3,474,758 円となりました。店内での作品展示などの活用により会員交流の場にもなっています。

シルバーワンコインサービス「愛プラス500」は、受託件数 53 件、一方、家事援助サービスは、受託件数 84 件の実績となりました。

またシルバー農園事業では、会員向け及び外部販売により、26,400 円の実績がありました。今後も収穫量の増加と安定や喫茶「楽」への食材提供を行い、積極的な活動を継続します。

また、手作りマスク製作では、3,900 円の実績がありました。